



セネガル国月報

2016年12月

在セネガル日本国大使館



主な出来事

内政

- 5日から6日にかけて、ダカールにおいて仏・セネガル政府共催による第3回アフリカの平和と安全に関するダカール国際フォーラムが開催され、アフリカ首脳及び閣僚、日本から武井外務大臣政務官が出席した他、各国の政府並びに軍関係者、民間企業関係者約900人が参加した。
- 31日、サル大統領は国民向け演説の中で、2016年の国家事業の進捗状況及び2017年の展望を発表した。

外政

- 9日、ジャメ・ガンビア大統領による選挙結果の受入拒否声明を受けて、セネガル外務・在外セネガル人省は報道発表を發出し、同声明を強く非難した。
- 19日から22日にかけて、サル大統領はフランスを公式訪問し、両国は総額1.95億ユーロとなる都市高速鉄道に関する2協定を含む7協定を締結した。また、セネガル政府及び仏TOTAL社はオフショアの石油開発に関する協定を締結した。
- 29日、ンジャイ外相は国民議会質疑においてイスラエルがセネガルに対する制裁を実施していることに対して、イスラエルによる援助凍結や外交活動制限は危惧するほどのものではないとの見方を示した。

経済

- 14日、ダカール-ブレーズ・ジャーニュ国際空港(AIBD)間を50分で結ぶ都市高速鉄道(TER)の起工式がサル大統領立ち会いのもと開催された。
- 9日、米Kosmos Energy社及び英BP社はセネガル・モーリタニア国境の石油・ガス開発及び天然ガスの精製及び商品化に関する協定を締結した。

内政

2017年国民議会議員選挙

- 2日、サル大統領は野党連盟「セネガル防衛戦線」を招集し、来年4月までに400万人分の選挙票の改正が実施されない場合は現行の選挙票を国民議会選挙に使用することに合意した。また、来年の国民議会議員選挙の実施は7月2日に決定した(2日～4日 Temoin)。

ダカール国際フォーラム

- 5日から6日にかけて、ダカールにおいて仏・セネガル政府共催による第3回アフリカの平和と安全に関するダカール国際フォーラムが開催され、アフリカ首脳及び閣僚、日本から武井外務大臣政務官が出席した他、各国の政府並びに軍関係者、民間企業関係者約900人が参加した(6日～8日 Le Soleil 他)。

2017 年国家事業

- 31 日、サル大統領は国民向け演説の中で、2016 年の国家事業の進捗状況及び 2017 年の展望を発表した。2016 年は世界経済が停滞する中、セネガルはマクロ経済状況が良好で、インフレ率を 1%以下に抑えつつ、経済成長率 6.6%を達成したこと、また、電気料の 10%引き下げが 2017 年上半期に実施されること等が発表された(大統領府コミュニケ他)。

外政

1 セネガル・ガンビア関係

- 9 日、ジャメ・ガンビア大統領による選挙結果の受入拒否声明を受けて、セネガル外務・在外セネガル人省は報道発表を発売し、同声明を強く非難、一切効力を持たないものと見なすとし、ECOWAS、AU 及び国連と即座に協働し、ガンビア大統領選挙の結果を守り、ガンビア国民の主権を尊重するため全措置を講ずると発表した(9 日 セネガル外務省 HP)。

2 セネガル・仏関係

- 12 月 19 日から 22 日にかけて、サル大統領はフランスを公式訪問し、両国は総額 1.95 億ユーロとなる都市高速鉄道に関する 2 協定を含む 7 協定を締結した。また、セネガル政府及び仏 TOTAL 社はオフショアの石油開発に関する協定を締結した(19 日～23 日 Le Soleil 他)。

3 セネガル・イスラエル関係

- 12 月 22 日、ベハル・イスラエル外務省アフリカ特使は、セネガルとの経済協力関係を強化していく意向を示し、現在カメルーンとルワンダにあるイノベーションセンターの第 3 校目をセネガルに建設する可能性について言及した。またイスラエル管轄のセネガル大使(駐エジプト)の任命を歓迎する旨述べた(22 日 APS)。
- 23 日の国連安保理におけるイスラエル入植停止決議採択に対し、イスラエル政府は対セネガル援助の凍結及び駐セネガル・イスラエル大使を召還するなど外交活動の制限を決定した(28 日 Le Quotidien)。
- 29 日、ンジャイ外相は国民議会質疑においてイスラエルがセネガルに対する制裁を実施していることに対して、イスラエルによる援助凍結や外交活動制限は危惧するほどのものではないとの見方を示した(30 日 Sud Quotidien 他)。

経済

1 都市高速鉄道(TER)起工式

- 14 日、ダカール-ブレーズ・ジャーニュ国際空港(AIBD)間を 50 分で結ぶ都市高速鉄道(TER)(500 席、1 日あたりの利用客数 11.5 万人)の起工式がサル大統領立ち会いのもと開催された。サル大統領は同案件の引き渡しは 2019 年 1 月になる見込みと述べた(14 日 APS)。

2 ガス・石油開発

- 9日、米 Kosmos Energy 社及び英 BP 社はセネガル・モーリタニア国境の石油・ガス開発及び天然ガスの精製及び商品化に関する協定を締結した。Kosmos Energy 社の公式発表によれば BP 社がブロック C6, C8, C12, C13の権益62%を獲得した。Kosmos Energy 社はモーリタニア、セネガルにそれぞれ28%、32.49%出資参加している(19日 APS)。

(注)「セネガル月報」は、セネガルの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)